

近畿老人福祉施設研究協議会奈良大会で研究報告

グループホームぼだいじ

7月26日に行われました平成30年度近畿老人福祉施設研究協議会奈良大会で発表をさせていただきました。発表内容としては、普段の生活の中で入居者さんにもっとしていただける事ではないかと考え「自立支援～できる事を見つける・増やす取り組み～」というテーマで発表をさせて頂きました。QC手法を使い、現状分析を行い対策を検討・実施。動きやすい環境を整える事で、新たにしていだけることや、動かれる時間が増加し、自立支援に繋がった事を発表することができました。



デイサービス管理者交流会

4月25日 8月29日



近江ちいろば会には多様なデイサービスがあります。(一般型デイ1ヶ所、地域密着型デイ3ヶ所、認知症デイ3ヶ所)それぞれ特徴があり、様々な取り組みを行っています。いいところや、もっとよくしていきたいという思いを持っておられるので、それならば!ということで、管理者交流会を行いました。お互いの強みを披露し合い、学び合う場となりました。これを、更に進めて現場の交換デイサービス留学会に発展させていきます。

管理者研修会

9月15日

近江ちいろば会の管理者研修会を湖南市のサンライフ甲西で行いました。参加者は講師と職員19名。午前中は、理事長より松下幸之助の社員稼業に学ぶ。一人の職員が自分の稼業のように考え働くと、遣り甲斐と大きな成果が出る。午後は、管理者の仕事の棚卸を講師の寺田先生の指導で行いました。自らの業務を振り返ることで、重点事項の仕事の配分など、今後の仕事の進め方に大いに参考になりました。又、管理者同士の交流にもなりました。



寄付金・後援会費 感謝報告

2018年4月1日～9月6日現在 [順不同・敬称略]

高木 静枝
ダンディライオン
鎌田 妙子
榎本和子・橋本つ子
魚谷 幸子
後宮俊夫・松代子
藤井 淑子
藤原 忠昭
松吉生・千鶴子
木村 量好
西八條敬洪・久江子
臆 成文
伊勢戸 敏信

五田 味由紀子
藤田 明子
原 藤孝子
鈴木 木子
渡 鈴木子
人 田善博
川 見美子
佐 嶋昭勝
森 藤義彦
中 田芳茂
八 忠匡美
宮 明美代子
後 宮 忠 弘

後宮 登貴子
奈良 山力
西 辻 政昭
登 佐 賀 藤 平
遠 藤 道
藤 野 山
杉 野 村
野 谷 口
森 口 聡

宇田 川 潔
近 藤 和 江
中 西 加 代
道 前 城 子
日本キリスト教団能登川教会
江坂剛三・恵美子
植 野 雄 介
平 野 孝 正
上 田 圭 彦
和 後 田 圭 子
角 川 和 代

森本 田 和
久 保 篤
松 山 克
増 井 武
大 山 孜 郎
大 野 佳 悠子



事業内容

ケアハウス ピスガこうせい/ぼだいじデイサービスセンター/ぼだいじホームヘルプステーション/ぼだいじ居宅介護支援センター/グループホームぼだいじ/中央デイサービスしんあい/小規模多機能型居宅介護 ぼだいじみんなの家/みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)/ぼだいじ訪問看護ステーション/デイケアの家おしどり/ゆめとまの家おしどり

発行日 2018年10月
発行責任者 理事長 森 口 茂



取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費:年額1口 5,000円(何口でも可)

ピスガからの風

第49号

2018年10月

社会福祉法人 近江ちいろば会
ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900(代表)
FAX.0748-74-3910
http://chiiroba.jp/

理事長挨拶

理事長 森口 茂



暑い夏から秋に急激に変化し、体調管理が難しい季節です。皆様お元気でお過ごしでしょうか。社会福祉事業は、人手が必要とされる仕事ですが、人口減少社会の中多くの事業所で人手不足でご利用者様のご利用を制限しているところが出ています。これから、ますます高齢化が進みご利用者が増えることが予想される中困ったことです。外国人技能実習生の受け入れを国は考えていますが、いろい

ろと制限があり暗中模索の状態です。そのような中、滋賀県彦根の特別養護老人ホームが中国人技能実習生を9月に10名採用し、話題になっています。日本の国で、福祉を成り立たせるには外国の方の手を借りなければ成り立たないと思われれます。多様な国の方が協力して生活できる多様性を受け入れる社会づくりをしていかなければならないと思います。時代は急激に変わっていく中、近江ちいろば会も変化対応を求められています。

創立23周年祝賀会が盛大に開催されました

日時: 2018年9月7日(金) 19時～21時半
会場: あたか飯店 草津店
参加者: 94名

多くの皆様のご支援のお蔭で、近江ちいろば会は23周年を迎えることが出来ました。職員の労をねぎらうことと、今後のビジョンを共有することを目的に祝賀会を開催いたしました。

森口理事長の「今後のビジョン」発表、職員の永年勤続表彰および個人表彰・事業所表彰を行い、年に一度職員それぞれが自らの職務に前向きになる良い機会となっています。美味しい中華料理、恒例となった大抽選会では和やかに進み、締めめの圧巻は理事長と若手職員による「YOUNGMAN」の大合唱。職員皆が楽しい時間を過ごし、また明日からの活力となりました。

近江ちいろば会は、これからも一致団結して、地域福祉への貢献・社会サービスの提供を通し、ご利用者様と全職員の幸福を実現してまいります。

今後のビジョン

在宅生活を支援するために、自立支援型ケアを強化
在宅看取りを実現するために、介護職、リハ職、看護職の連携



永年勤続表彰



事業所表彰



個人表彰



ビジョン説明



YOUNGMANの合唱



食事風景



人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい
OMI CHIROBAKAI
社会福祉法人 近江ちいろば会

夏祭り

2018年7月21日(土)
テーマは「繋がり」

委員長 遠藤隆士

5月から夏祭り委員会メンバーにより準備を行い当日を迎えました。

様々なゲストの皆様のステージ、職員の歌と踊りも盛り上がり、料理、各事業所の紹介の展示も素晴らしいものでした。沢山の方々にご来場頂き、喜んでいただきました。



集合写真



夏祭り風景

バイオリンとフルート演奏



かすみそだの演奏



おもしろい麦畑



歌唱 血液がたがた



岡田兄弟 素晴らしい歌唱力



ゆるキャラ こぼちゃん・いしべどん



バンドメンバー



バンドこおどり

ボランティア感謝会を開きました

5月29日(火)、30日(水)の両日、レストラン潮、ライズヴィル都賀山において、日頃の感謝の意を表すとともにボランティアの方々や職員との親睦の機会として「ボランティア感謝会」を開催いたしました。理事長の「これからの高齢社会に向けて」のメッセージの後、食事をとりながらの情報交換やみんなで歌を歌ったり、大いに盛り上がった一時となりました。



訪問看護 介護特集

在宅生活を支える力強い力

～訪問看護と訪問介護～

「自宅や住み慣れた町で最後まで自分らしく暮らしたい」と願う気持ちは、多くの人の共通の思いではないでしょうか。その時、在宅を支える訪問看護と訪問介護は欠かせない存在です。今回は、当法人の「ほだいじホームヘルプステーション」と「ほだいじ訪問看護ステーション」の新たな取り組みを紹介させていただきます。

「家事を一緒にしてみませんか」

(ほだいじホームヘルプステーション)

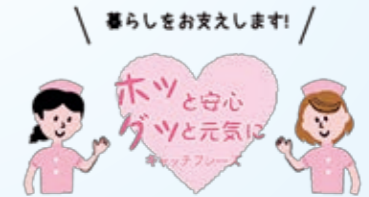
調理、掃除、洗濯など、全部のことが出来なくても、少しでもご自身でやってみようとする気持ちが、在宅を続けていく上で大変大切です。私たち、ほだいじのヘルパーは、ご利用者様のできそうなことを把握して、上手に助けを出したり声を掛けさせていただき、「自分でできた」「手伝ってもらったら、ここまで出来た」という喜びを感じて頂けるよう取り組んでいます。部分的であっても出来なくなったことばかりを考えると、高齢者はあっという間に体力や気力が減少していきます。今できる事を私たちヘルパーと一緒にしてみませんか？



「日常の健康管理や相談もできる 私的サービスの開始に向けて」

(ほだいじ訪問看護ステーション)

介護保険、医療保険で決められた回数や看護の内容とは別に、私費で日々の健康相談や保険外の看護師によるサービスを提供できるよう取り組んでいます。健康状態に留意しながら散歩したり、耳かきや爪切りなどの整容を整えたり、病気や痛みに対する不安の相談、体操やリハビリなど、ご自宅や自室に訪問して対応致します。じっくりとあなたのお悩みを伺い、身体と心の回復と健康づくりを助けます。



ちいろば弁当(配食弁当)

近江ちいろば会では、デイサービスのご利用者の方が、デイサービスからお帰りの時に一緒に弁当をお届けするサービスを行っています。

直営の厨房で心を込めて調理しました料理を保温の効いた弁当箱でお届けしています。

お一人住まいの方、高齢で料理を作るのに手間がかかる方に好評です。

(対象：湖南市内の近江ちいろば会のデイサービス)



平成29年度の決算報告

貸借対照表(全施設合計) 平成30年3月31日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	400,950,452	流動負債	73,678,496
固定資産	1,112,731,480	固定負債	152,866,778
(基本財産)	836,785,837	負債の部合計	226,545,274
(その他の固定資産)	275,945,643	純資産の部	
		基本金	92,980,024
		国庫補助金等特別積立金	412,596,415
		その他の積立金	47,381,147
		次期繰越活動増減差額	734,179,072
		(うち、当期活動増減差額)	49,843,531
		純資産の部合計	1,287,136,658
資産の部合計	1,513,681,932	負債及び純資産の部合計	1,513,681,932

事業活動計算書 平成29年4月1日～平成30年3月31日 (単位：円)

勘定科目		当年度決算額	勘定科目		当年度決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	637,227,444	特別増減の部	特別収益計	114,999
	サービス活動費用計	590,472,334		特別費用計	892,684
	サービス活動増減差額	46,755,110		特別増減差額	▲777,685
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	9,342,352	当期活動増減差額	49,843,531	
	サービス活動外費用計	5,476,246	前期繰越活動増減差額	674,007,781	
	サービス活動外増減差額	3,866,106	当期末繰越活動増減差額	723,851,312	
経常増減差額	50,621,216	繰越活動増減差額の部	基本金取崩額	0	
			その他の積立金取崩額	20,327,760	
			その他の積立金積立額	10,000,000	
			次期繰越活動増減差額	734,179,072	

財産目録

平成30年3月31日現在 (単位：円)

流動資産	400,950,452	固定負債	152,866,778
固定資産	1,112,731,480	差引純資産	1,287,136,658
流動負債	73,678,496		